④　平成26年度分

（単位：円）

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	—	（業務達成基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	（期間進行基準を採用した業務は無い）
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	2,509,858,427	①　費用進行基準を採用した業務：当法人における全ての業務 ②　当該業務に係る損益等 ア）損益計算書上に計上した費用の額：2,923,461,965円 （業務費：2,133,758,146円、一般管理費：789,679,303円、財務費用：24,516円） イ）自己収入に係る収益計上額：272,692,099円 （事業収益：220,567,405円、受託収入：50,540,094円、雑益：1,584,600円） ウ）資産見返負債戻入額：140,926,823円 （資産見返運営費交付金戻入：140,771,603円、資産見返物品受贈額戻入：155,220円） エ）固定資産の取得額：21,395,897円 （有形固定資産：21,075,466円、その他の流動資産：320,431円） オ）投資その他の資産の取得額：8,830円 カ）たな卸資産：99,890,966円 キ）リース資産の調整：▵15,384円 （費用の額（減価償却費＋支払利息）から年間支払総額を差し引いた額） ③　運営費交付金収益の振替額の積算根拠 （ア－イ－ウ－キ）
	資産見返運営費交付金	121,295,693	
	建設仮勘定見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	2,631,154,120	
会計基準第81第３項による振替額		—	
合計		2,631,154,120	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	（業務達成基準を採用した業務はない）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	（期間進行基準を採用した業務はない）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	3,880,355	○費用進行基準を採用した業務は、当法人における全ての業務である。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、業務費の執行残である。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定である。
	計	3,880,355	